

12月19日 服のチカラ・プロジェクト

人権の学習の一環として、「服のチカラ・プロジェクト」に取り組みます。これは、世界の難民の子どもたちに服を供給することで支援するというものです。

帰りの会終了後、体育館に入場した北中生を前にして、このプロジェクトに協力している中京学院大学附属中京高等学校国際コースの女子生徒7名がプレゼンテーションをしました。動画を効果的に使い、説明も中学生向きにわかりやすくして堂々と語りました。

「難民とはどういう人たちのことをいうのか」「難民の子どもたちになぜ服が必要なのか」を丁寧に説明した後、動画で届いた服に喜ぶ子どもたちの姿を示しました。北中生は食い入るように動画を見つめ、豊かな日本に暮らす自分たちと比べていたようです。

その後、代議員長の建島葉菜さんがプロジェクトの告知と、プレゼンに取り組んだ中京高校の生徒たちにお礼を語りました。

服の回収は年明けに始まります。集まった服は中京高校からユニクロに送られ、やがて世界の難民に届けられます。一枚でも多くの善意の服が集まることを期待します。



プロジェクトの中身だけではなく、その説明をした中京生の高校生としての姿にもすばらしいものがありました。普段は英語を中心に学んでいる彼女たちでしょうが、中学生の前で語る日本語や語り方にも優れていました。自分たちとはひと味違う高校生の姿は、中学生にとってよい刺激となったようです。

